
魔族が見た夢のお話

花園

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔族が見た夢のお話

【Nコード】

N9263M

【作者名】

花園

【あらすじ】

中学を卒業した魔族の少年、キルアは冒険者育成学校に入学した。同種族での友人ならば、誰にも愛されずに育った自分を理解してくれる。彼は、そう信じた。

純血種の望み

冒険者育成学校にて。淡い紫色の長髪を揺らす生徒が、校庭に居た。制服を身に纏い、重そうな剣を携えた姿で、彼が戦士として入学した事が伺えた。他の生徒達は彼にちらりと視線を投げ、彼の容姿を見ては近くに居た者と何かを囁き合い、校舎へ入っていった。

彼の名はキルア。他種族に忌み嫌われる運命を辿るべき種族、デイアボロスの少年だった。少々血色の悪い肌に、少しばかり吊り上った赤い目。悪魔の血を源とする角。彼は、他種族の血など混ざっていない、純血種だった。見た目では純血種という事は解らない。それでも彼は避けられた。

彼は、自分を避ける他種族に興味が無い。竜の血を持つと云われる、力の強いバハムーン族の戦士と剣を交えてみたいと思っているだけだった。それだと云うのに、彼は両親の反対も押し切って、他種族が多く集まる学校に入学した。

誰にも愛されない孤高の種族である彼は、自分と同じように誰にも愛されずに育った同種族との出会いを望んでいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9263m/>

魔族が見た夢のお話

2010年11月12日07時23分発行